レーザパイプ加工への参入をより経済的で迅速に

Mischitz GmbH社には「静止状態」という言葉はありません。1974年に設立されたこの家族経営企業は、ここ数年間で、鍵屋から複雑な溶接コンポーネントのサプライヤーへと発展しました。その理由の一つは、新しいマシンとテクノロジへの継続的な投資です。エントリーマシンであるTruLaserTube 3000 fiberを使用して、Mischitz社は、レーザパイプ加工を含むポートフォリオを拡大する機会を利用しました。試運転から90分程ですでに最初の部品がマシンから出てきました。Mitschitz GmbH社のマネージングパートナーであるハイコ・ミシッツ氏はそのことに感銘を受け、熱く語っています。「従来型のパイプ加工は時間がかかります。このマシンでは3〜4つの作業ステップを減らすことができました。」

Mischitz GmbH

www.mischitz-gmbh.de

Mischitz GmbH社は、板金加工のサプライヤーであると共に、複雑な溶接コンポーネントの設計と製造のスペシャリストです。レーザパイプ加工への参入により、同社は豊富なポートフォリオを拡大しました。

業界
板金加工

従業員数
30

事業拠点
カイザースラウテルン (ドイツ)

TRUMPF製品

- TruLaser Tube 3000 fiber

アプリケーション

- レーザカッティング
- レーザ溶接
- ベンディング

課題

溶接コンポーネントの製造では、全ての作業ステップが重要です。ミシッツ社では、多くの作業ステップを要する従来型のパイプ加工に多くの時間を費やしていました。中小企業であっても、パイプ切断レーザ加工機に投資する価値はあるのでしょうか？Mitschitz GmbH社のマネージングパートナーであるハイコ・ミシッツ氏とパトリック・ミシッツ氏は、エントリーモデルとしてTRUMPFのTruLaser Tube 3000 fiberをテストした後、この問いに対して明確に「イエス」と答えています。



"パイプ加工における時間の節約は、全体のスループットタイムに影響を与えます。このマシンへの投資は当社にとって紛れもなく価値のあるものでした。"

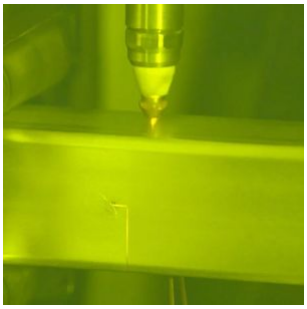
パトリック・ミシッツ
MITSCHITZ GMBH社マネージングパートナー

解決策

TRUMPFは特に新規市場参入者のニーズに合わせてTruLaser Tube 3000 fiberを開発しました。フレキシブルで正確かつ迅速に切断することができます。ハイコ・ミシッツ氏は次のように語っています: 「この装置を導入することで、生産時に3～4つの作業ステップを減らし、後続プロセスでも時間を短縮することができます。以前はよく寄せられていた設計時における問い合わせも、今では必要ありません。」パトリック・ミシッツ氏とハイコ・ミシッツ氏は、高精度の生産や繰り返し精度に対してだけでなく、装置へのアクセス性の良さと操作性の良さに対しても感銘を受けています。

実行

TRUMPFは装置の設置に必要な期間を3週間と見込んでいました。その期間に並行して、ハイコ・ミシッツ氏はディツィンゲンでのトレーニングを受講しました。パトリック・ミシッツ氏は「試運転から90分程ですでに最初の部品が機械から出てきました」と感銘を受けました。







展望

Mischitz社は今後も開発を続けたいと考えており、お客様に短納期で最高の品質を提供するために、次に役立つテクノロジを常に検討しています。ハイコ・ミシッツ氏とパトリック・ミシッツ氏は、TRUMPFを信頼できるパートナーとして信頼を寄せています: 「TRUMPF社と当社は計画を順調に進められたと感じています。」